

サイエンスレクチャー 2025

開園100周年を記念し開始したサイエンスレクチャー、生物や多様性保全、植物園に関わるさまざまな話題を、専門家がわかりやすく解説します。

時間：13:30～15:00（受付13:00～）

場所：植物園会館 2階 多目的室、定員60名（受付13:00～先着順）

主催：京都府立植物園・京都府立大学新自然史科学創生センター・

きょうと生物多様性センター

2026年 3月 1日(日)

「蝶のきた道」(日浦勇 著)から半世紀：
ギフチョウのきた道を探る

岐阜大学 土田 浩治 氏



成虫写真は、
鈴木俊文氏撮影

お問い合わせ先 京都府立植物園 京都市左京区下鴨半木町 TEL 075-701-0141

■入園料 一般500円 65歳以上・高校生250円 中学生以下無料 ■入園時間 9:00～16:00(17:00閉園)
※時期により時間延長、早朝開園等を実施します。

※入園料のみで観覧温室にもお入りいただけます ■温室入室時間 10:00～15:30 (16:00閉室)

※障害者の方及び介護者の方（証明できるものを提示）は入園料無料

■アクセス JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」から地下鉄「北山駅」下車3番出口すぐ又は同「北大路駅」車3番出口から東へ徒歩約10分

◆ご来園には地下鉄・市バスをご利用ください◆



京都府立植物園100周年記念 学術講演会

サイエンスレクチャー2025

11月22日(土)

ある日森を歩いていたらキノコと出会った動物とキノコの話

都野 展子 (金沢大学 准教授)

12月13日(土)

植物群落の多様性とその保全 – 空からの観察を通して –

中田 康隆 (京都府立大学 准教授)

1月18日(日)

森への鳥の飛来に虫が関係する？

カナメモチ果実をめぐる鳥と虫の関係

平山 貴美子 (京都府立大学 准教授)

2月 7日(土)

野生のグミが辿ってきた道

～固有化・交雑・細菌共生の歴史を分子系統解析で探る～

塚本 佳生(京都大学大学院 理学研究科)

3月 1日(日)

「蝶のきた道」(日浦勇 著)から半世紀:

ギフチョウのきた道を探る

土田 浩治(岐阜大学 教授)